

それって、いつもの風邪ですか？

9月24日～30日は

結核予防週間

結核は「過去の病気」ではありません。

東京都では、新たな結核患者数が減少傾向にあるものの、現在でも、毎年2000人以上が結核を発症し、治療を受けています。

特に高齢者の割合が高くなっていますが、20～30歳代の若い世代の患者割合も全国に比べて高く、若い人も注意が必要です。



■結核とは

患者のせき・くしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことで感染する病気です。

初期症状はせき・たん、発熱等、風邪とよく似ているため、注意が必要です。

症状がはっきりと現れにくい高齢者では、食欲低下や体重減少で気付くこともあります。

■治療について

結核治療薬を6か月～1年程度内服することで治ります。

発病しても「たん」に結核菌がいなければ、通院治療が可能です。

進行し、「たん」の中に結核菌が含まれるようになると、入院治療が必要です。

■早期発見が重要

結核は、胸部レントゲン検査で調べることができます。

年に1回は健康診査を受け、せき等の症状が2週間以上続くときには、早めに医療機関を受診しましょう。

相談・問合せ 保健予防課 ☎内線430

アニサキスによる食中毒に注意しましょう

近年、全国的に、アニサキスによる食中毒が多発しています。

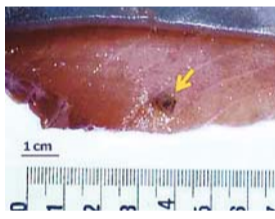
平成28年に都内で発生したアニサキスによる食中毒は21件（患者数21人）で、原因物質別の件数では第3位でした。平成29年は、7月15日現在で18件（患者数19人）発生しており、平成28年同時期の2倍となっています。

問合せ 生活衛生課 ☎内線428

アニサキスとは

アニサキスは寄生虫の一種です。

幼虫は白色で、長さ2～3cm、太さ0.5～1mm程度で、サバ、サンマ、アジ、イワシ、サケ、イカ等の海産魚介類に寄生します。



▶写真提供：(公益財団法人)目黒寄生虫館・小川和夫館長

アニサキスによる食中毒の症状

▶急性胃アニサキス症

食後数時間～十数時間後に、みぞおちの激しい痛みや吐き気、おう吐

▶急性腸アニサキス症

食後十数時間後～数日後に、激しい下腹部痛や腹膜炎症状

予防のポイント

- 新鮮な魚を購入しましょう。アニサキスは魚の鮮度が落ちると、内臓から筋肉に移るので、できるだけ早く内臓を取り除いてください。また、内臓は生で食べてはいけません
- 魚を生で食べる場合、よく見てアニサキスがないことを確認してください
- 十分な冷凍（-20℃で24時間以上）や、加熱調理（中心温度60℃で1分以上）でアニサキスは死にます
- 一般的な料理で使う程度の酢、しょうゆ、塩、わさび等では、アニサキスは死にません。特にシメサバ（冷凍処理されていないもの）によるアニサキス症が多く報告されています

アタマジラミにご注意を

相談・問合せ

生活衛生課（区役所北庁舎1階）☎内線426

アタマジラミは頭髪に寄生するシラミで、主に保育園や幼稚園、小学校低学年の子どもたちの間で季節に関係なく発生します。頭皮を刺して吸血し、かゆみをもたらしますが、ほかの病気をうつすことはありません。

アタマジラミは、頭同士の接触やブラシ、タオル等の共用が原因でうつります。正しい知識で対処しましょう。

アタマジラミの生態

成虫は体長2～4mm、黒灰色をしていて、頭髪の間を素早く動き回ります。

卵は白色で長さ約0.5mm、髪の毛に産み付けられます。約1週間で幼虫になり、約3週間で成虫になります。

成虫の寿命は約1か月で、約100個産卵します。幼虫・成虫ともに吸血しますが、吸血できないと2～3日で死にます。

アタマジラミ卵の抜け殻



▶卵の抜け殻の有無でアタマジラミの生息を確認します（写真提供・国立感染症研究所）

アタマジラミの確認

卵はフケの一種であるヘアークラストや皮脂と間違いやすいです。判断がつかない場合は髪の毛を紙等に貼り付け、生活衛生課へ持参してください。

駆除方法

アタマジラミや卵を発見した場合は次の方法を参考に駆除しましょう。

▶すきぐしで取り除く

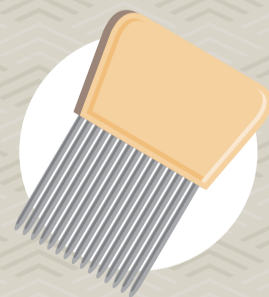
洗髪時にすきぐし（右イラスト）を使って卵を取り除きます。リンスをしたときにすくと良いでしょう

▶殺虫剤入りシャンプーを使う

市販の殺虫剤入りシャンプーを使用します。成虫には効きますが、卵には効果がないので、1週間以上続ける必要があります

▶髪の毛を切る

髪の毛を短く切ることが有効です



▶すきぐしは、生活衛生課で貸し出しています

日常生活上の注意点

同居している家族にうつることがあります。枕カバー・シーツ・衣類は分け、毎日洗濯することが大切です。また、毎日念入りに頭を洗うことでもアタマジラミを防ぐことができます。